

令和5年度

# 学生募集要項

3年次編入学

文化学部 文化学科

[言語文化系／地域文化創造系]

[文化総合系（夜間主コース）]

	[言語文化系／地域文化創造系]	[文化総合系（夜間主コース）]
出願期間	10月6日（木）～10月14日（金）	
試験日	11月20日（日）	
合格者発表	12月2日（金）	
入学手続期間	12月5日（月）～12月14日（水）	



出願書類を郵送する前に、18ページの「必要書類一覧チェックリスト」を必ず確認してください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応として、本要項記載の日程や選抜方法等を変更することがあります。変更する場合は、本学ホームページにてお知らせします。

# 目 次

アドミッション・ポリシー .....	1
--------------------	---

## 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]

1. 募集人員 .....	3
2. 出願資格 .....	3
3. 出願手続 .....	3
4. 選抜方法 .....	5
5. 配点・採点評価基準・合否判定基準 .....	5
6. 教育課程等 .....	5

## 文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]

文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)] とは... ..	7
1. 募集人員 .....	7
2. 出願資格 .....	7
3. 出願手続 .....	7
4. 選抜方法 .....	9
5. 配点・採点評価基準・合否判定基準 .....	9
6. 教育課程等 .....	9

## 共通事項

1. 受験及び修学上の配慮を必要とする場合の事前相談 .....	11
2. 試験会場 .....	11
3. 受験上の注意事項 .....	11
4. 合格者発表 .....	12
5. 入学手続 .....	13
6. 納入金 (令和4年度実績) .....	14
7. 入学試験成績情報の提供 .....	15
8. その他 .....	16
9. 試験会場位置略図 .....	17
10. 必要書類一覧チェックリスト .....	18

# アドミッション・ポリシー

## 高知県立大学のアドミッション・ポリシー

高知県立大学は、幅広い教養及び高度な専門知識、豊かな人間性を備え、地域はもとより広く国内外で活躍することができる能力を有するとともに、平和を希求し、社会に貢献することができる人材の育成をめざしています。

したがって、本学では、次のような人を求めています。

### 求める学生像

- 1 目標を持って主体的かつ積極的に学び、行動できる人
- 2 豊かな人間性を備え、他者を尊重し、共に学び合おうとする人
- 3 高知県立大学での学びを活かし、地域社会や国際社会への貢献をめざす人

## 学部の3つのポリシー

アド ミ ッ シ ョ ン ・ ポ リ シ ー	<p>文化学部は、人文・社会系諸科学による多角的な文化研究により人間・社会に対する理解を深め、文化の批判的継承を通して豊かな人間性と主体的に行動し得る能力を培い、地域文化の創造と向上に資するとともに、真に豊かな共生社会の実現に向けて国際的に貢献できる市民を養成します。</p> <p>したがって、文化学部では、次のような人を求めています。</p> <p><b>求める学生像</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人文・社会系諸科学を理解する上で必要な基礎的素養、すなわち高等学校等で履修する主要な教科に関する十分な基礎学力を有している人〔知識・理解〕</li> <li>2 高等学校等で履修した幅広い基礎的素養を基に、物事を論理的に思考・判断し、これを言語によって適切に表現する能力を備えている人〔思考力・判断力・表現力〕</li> <li>3 人間・社会に広く関心を持ち、言語、地域、観光、法学などの視点から人文・社会系諸科学の専門的知識を身につけたいと考えている人〔関心・意欲・主体性・協働性〕</li> <li>4 人間に対する理解を深め、実践的なコミュニケーション能力を体得し、現代社会の諸課題を主体的に発見・分析・解決するために必要な学習に意欲のある人〔関心・意欲・主体性・協働性〕</li> <li>5 将来、地域社会・国際社会の幅広い分野で豊かな共生社会の実現に向けて活動したいと考えている人〔関心・意欲・主体性・協働性〕</li> </ol> <p><b>入学者選抜の基本方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次編入学選抜〔言語文化系／地域文化創造系〕</li> </ul> <p>小論文と面接を課します。小論文では、文化学部で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識・理解力、併せて英語の読解力を総合的に評価します。面接では、志望動機書の内容、TOEICの結果も参考にして、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次編入学選抜〔文化総合系（夜間主コース）〕</li> </ul> <p>小論文と面接を課します。小論文では、文化学部で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識・理解力を総合的に評価します。面接では、志望動機書の内容も参考にして、文化学部における勉学・研究への熱意・意欲、文化学部で学ぶ上で必要な言語表現力、論理的思考力、判断力、基本的な知識や理解力等を総合的に評価します。</p>
カリ キュ ラム ・ ポ リ シ ー	<p>文化学部では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、「共通教養教育科目」と「専門教育科目」を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 共通教養教育科目             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 共生社会の市民の素養を身につけるため、コミュニケーションスキル（リテラシー科目）、諸科学の基本的な知識（教養基礎科目）、地域社会や国際社会の課題（課題別教養科目）、生涯にわたる健康の維持・増進のための知識・技能（健康スポーツ科目）、地域課題への実践的取り組み（域学共生科目）を学ぶ科目群を設置する。</li> <li>(2) 英語コミュニケーションは1、2年次必修とし、域学共生科目中の基礎的科目は必修、応用的科目は選択とする。他の科目は各自の興味・関心に応じて選択して履修させる。</li> </ol> </li> </ol>

<p>カリキュラム・ポリシー</p>	<p>(3) 可能な限り少人数で、アクティブラーニングの手法を取り入れ、個々の科目の特性や内容に応じた多様な形式で授業を実施し、きめ細かな学修評価を行う。</p> <p>2 専門教育科目 専門教育科目には、学部共通科目と学部専門科目を置く。</p> <p>(カリキュラムの構造・教育内容)</p> <p>(1) 学部での学びの基礎的能力及びコミュニケーション能力を身につけるためのリテラシー科目、学部教育の基礎となる知識を身につけるためのエッセンシャル科目、就業力を高めるためのキャリア形成科目から成る学部共通科目を設置する。</p> <p>(2) 人文・社会系諸科学の専門的知識を幅広くかつ体系的に体得するために、言語文化系（英語学領域、国際文化領域、日本語学領域、日本文学領域）、地域文化創造系（地域文化領域、地域づくり領域、観光文化領域、観光まちづくり領域、現代法文化領域、生活法文化領域）、文化総合系（言語文化系及び地域文化創造系の教育内容を総合的に学ぶ）の3つの系から成る学部専門科目を設置する。</p> <p>(3) 専門的な知識・理解をより深め、専門的な研究手法を学ぶために各領域に専門演習を設置し、また、学部教育で体得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、必要な情報の収集とその的確な整理・分析を通じて、能動的かつ自律的に現代社会の諸問題を発見し、これを解決する能力を養うために課題研究ゼミナールを設置する。</p> <p>(4) この他、中学校・高等学校（国語、英語）の教職課程を設置する。</p> <p>(履修方法・順序)</p> <p>学部共通科目は、主に1、2年次に履修する。学部専門科目は、主に2～4年次に履修する。各領域の専門演習及び課題研究ゼミナールは、3、4年次に履修する。</p> <p>(教育方法)</p> <p>学部共通科目及び学部専門科目では、学生が能動的に学習するよう多様な教育方法を取り入れる。学部共通科目の基礎演習、各領域の専門演習及び課題研究ゼミナールは、少人数による演習形式で行い、課題研究ゼミナールでは学部教育の集大成として卒業研究を仕上げる。</p> <p>(評価)</p> <p>学部のディプロマ・ポリシーに基づいて各授業科目の達成目標を定め、達成目標及び成績評価の基準・方法を学生に周知し、それに基づいて成績評価を行う。さらに学生による教育に関する評価結果も踏まえて、カリキュラムの評価・改善を図り、教育の質の保証に努める。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー</p>	<p>人文・社会系諸科学の知識を身につけ、多様な社会や文化を理解し、豊かな共生社会の実現、新たな文化の創造及び自律した自己の成長を追求することを旨とし、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。</p> <p>(知識・理解)</p> <p>1 幅広い教養と人文・社会系諸科学の基本的な知識を身につけ、多様な文化に関して多角的な視点から理解することができる。</p> <p>2 言語文化系と地域文化創造系を中心とする人文・社会系諸科学の専門的知識を体系的に理解し、その知識体系を自らの問題意識の中に位置づけることができる。</p> <p>(汎用的・実践的技能)</p> <p>3 社会や文化に関する深い洞察に基づいて、日本語や外国語による高度な文章表現能力・他者との円滑なコミュニケーション能力・グローバルな情報発信能力を身につけている。</p> <p>4 必要な情報を幅広く収集し、的確に整理・分析することを通じて、その問題を解決できる能力を身につけている。</p> <p>(態度・志向性)</p> <p>5 豊かな共生社会の実現に向けて、能動的かつ自律的に地域社会・国際社会の諸問題の解決に取り組むことができる。</p> <p>6 社会や文化に深い関心を持ち、生涯にわたって学び、考えていく意欲を持っている。</p> <p>(総合的な学習経験と創造的思考力)</p> <p>7 これまでに体得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自由な発想のもとで新たな文化を創造することに貢献するとともに、自律した個人としての自己の成長を追求することができる。</p>

# 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]

## 1. 募集人員

学部・学科等	募集人員
文化学部 文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]	5人

※この募集は、昼間に履修する学生を募集するものです。

## 2. 出願資格

TOEIC 又は TOEIC-IP を受験し、TOEIC の公式認定証 (Official Score Certificate) 又は TOEIC-IP スコアレポート (TOEIC Institutional Program Score Report) を提出できる者で、次のいずれかに該当するもの。

- (1) 大学を卒業した者及び令和 5 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 他の大学に 2 年以上 (休学期間を除く。) 在学し、当該大学の教育課程において 62 単位以上を修得した者及び令和 5 年 3 月 31 日までに修得見込みの者
- (4) 短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者及び令和 5 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (5) 高等学校専攻科の課程のうち、修業年限が 2 年以上で、かつ、文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者及び令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (6) 専修学校の専門課程のうち、修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上の専門課程を修了した者及び令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (7) 外国において学校教育における 14 年以上の課程を修了した者及び令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

## 3. 出願手続

### (1) 出願期間

令和 4 年 10 月 6 日 (木) ~ 10 月 14 日 (金) 17 時 (**必着**)

### (2) 出願方法

ア 本学への出願方法はインターネット出願です。出願期間中にインターネット出願サイトより出願登録を行い、期間内に入学検定料の支払いと出願書類の発送 (書留速達扱い) を行ってください。インターネット出願に関する詳細は、本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」内に掲載されている「インターネット出願利用ガイド」よりご確認ください。

イ 期間内必着のため、出願期間後に到着した出願書類は受理しません。郵便事情を十分考慮して発送してください。

### (3) 出願先 (受付場所)

〒781-8515 高知市池 2751 番地 1

高知県立大学 学生支援部入試課 (電話 088-847-8789)

#### (4) 出願書類等

書 類	作 成 方 法
志 願 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学検定料払込手続完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷したものを提出してください。</li> </ul>
卒業・修了 (見込) 証明書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自の出願資格にかかわる出身学校長が発行した卒業証明書又は卒業見込証明書を提出してください。</li> <li>4年制大学に在学又は中途退学している者は、出身大学長が発行した在学(在籍)期間証明書(休学期間の有無が分かるもの)を提出してください。</li> <li>専修学校の専門課程を修了した者及び修了見込みの者は、本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」より「大学編入学受験資格証明書」の様式をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷したものを使用してください。</li> </ul> <p>(注) 証明書等が現姓と異なる場合は、戸籍抄本等、改姓したことを証明する書類を併せて提出してください。</p>
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自の出願資格にかかわる出身学校長が作成し、厳封した成績証明書を提出してください。</li> <li>4年制大学に在学している者は、履修証明書を含め62単位以上修得済み又は修得見込みを証明できるものを提出してください。</li> </ul>
志望動機書	<ul style="list-style-type: none"> <li>本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」より様式をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷したものに自書してください。</li> </ul>
TOEIC スコア等	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式認定証 (Official Score Certificate) 又は TOEIC-IP スコアレポート (TOEIC Institutional Program Score Report) を提出してください。</li> <li>コピー不可。</li> </ul>
入学検定料	<ul style="list-style-type: none"> <li>30,000 円</li> <li>納入方法については、「インターネット出願利用ガイド」をご確認ください。</li> </ul>

#### (5) 出願上の注意事項

- ア 本学の文化学科 [言語文化系/地域文化創造系] の社会人選抜との併願はできません。また、文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)] の3年次編入学選抜、社会人選抜 (A日程) との併願もできません。
- イ 記入にあたっては、黒のボールペン (消せるボールペンは使用しないこと) を用いて、楷書で丁寧に記入してください。  
誤って記入した場合は、その部分を二重線で消し訂正してください。
- ウ 出願書類に不備がある場合は、出願を受け付けません。
- エ 出願書類受理後には、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、入試課 (Tel : 088-847-8789) まで速やかに連絡してください。合格通知書、入学手続書類等はすべて出願時に登録された住所に送付します。
- オ 出願受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。
- カ 入学手続後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

#### (6) 受験票のダウンロード

受験票は、下記受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトからダウンロードし、カラー印刷のうえ、大切に保管してください。また、**試験当日は必ず持参してください。**ダウンロードした受験票には、2枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

受験票ダウンロード期間：令和4年10月19日(水)10時～11月18日(金)17時

## 4. 選抜方法

### (1) 選抜方法

本学が実施する小論文、面接及び出願書類の内容を総合して判定します。

### (2) 試験期日及び集合時刻

月 日	試験時間	試験科目等	集合時刻	集合場所
11月20日(日)	10:00~11:30	小論文	9:40	試験室
	13:00~18:00	面接	試験当日に指示します	

ア 試験当日は、本学永国寺キャンパス正面玄関に掲示する試験室等配置図を見て、その指示に従ってください。

イ 試験当日は、上記のとおり集合してください。試験開始、試験終了は、すべて指示又は合図によって行います。

※ 試験会場及び受験上の注意事項については、11ページ以降の共通事項をご確認ください。

## 5. 配点・採点評価基準・合否判定基準

### (1) 配点

小論文	面接	合計
200	100	300

### (2) 採点評価基準

試験科目等	採点評価基準
小論文	文化学科で学ぶ上で必要な読解力・論理的思考力・文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識と理解力を評価します。併せて英語の読解力を総合的に評価するための設問が課されます。評価は複数の採点者で採点し、その平均点を得点とします。
面接	提出された志望動機書の内容、TOEICの結果も参考にして、文化学科における勉学・研究への熱意・意欲、基礎的知識・論理的思考力・言語表現力等を含む文化学科で学ぶ上での適性などを総合的に評価します。複数の面接者の評価を点数化し、その平均点を得点とします。

### (3) 合否判定基準

小論文・面接の合計点で合否を判定します。

## 6. 教育課程等

### (1) 教育課程

文化学部文化学科〔言語文化系／地域文化創造系〕は、言語文化系（英語学領域、国際文化領域、日本語学領域、日本文学領域）及び地域文化創造系（地域文化領域、地域づくり領域、観光文化領域、観光まちづくり領域、現代法文化領域、生活法文化領域）の2つの系から構成されています。入学した後、主として履修する領域（主領域）及びそれに深く関連する領域（周辺領域）を中心に履修を進めます。

### (2) 編入年次・修業年限

編入した学生は、原則として3年次編入とし、修業年限は2ヶ年とします。ただし、認定可能な既修得単位数によっては、修業年限が2ヶ年を超えることがあります。

### (3) 既修得単位の認定

大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等において修得した単位のうち、本学所定の授業科目に相当すると認められたものについては、本学で修得したものとして認定を行います。

ただし、既修得単位の認定は、最高62単位までとします。共通教養教育科目は最高25単位、専門教育科目は最高37単位まで、包括認定します。

### (4) 履修方法

既修得単位の認定後に、本学部の卒業認定に必要な単位を修得するよう個別の履修計画を作成し、学習を行います。

### (5) 取得可能な免許状

所定の単位を修得した者は、以下の免許状を取得することができます。ただし、免許状の種類に応じた科目を一定期間内に取得する必要があるため、3ヶ年以上在学しなければならない場合があります。

教育職員免許状：中学校教諭一種（国語）（英語）  
高等学校教諭一種（国語）（英語）



# 文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]

## 文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)] とは...

文化学部文化学科は、昼夜開講制の学部学科です。文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)] は、経済的な事由などで昼間働きながら勉学を続けたいという意欲のある人、すでに社会人として社会の中で一定の役割を担いながらも、自己の知識・能力を向上させたいと希望する人など、年齢も経験も様々な人たちが集い、相互に刺激し合いながら学びあう場となります。

授業は平日の午後6時から9時過ぎまで行われ、平日夜間の受講によって、卒業必要単位の修得が可能です。

### 1. 募集人員

学部・学科等	募集人員
文化学部 文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)]	3人

※文化学科 [文化総合系 (夜間主コース)] は、主に平日の夜間に授業を行います。

### 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者及び令和5年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 他の大学に2年以上(休学期間を除く。)在学し、当該大学の教育課程において62単位以上を修得した者及び令和5年3月31日までに修得見込みの者
- (4) 短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者及び令和5年3月31日までに卒業見込みの者
- (5) 高等学校専攻科の課程のうち、修業年限が2年以上で、かつ、文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (6) 専修学校の専門課程のうち、修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専門課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (7) 外国において学校教育における14年以上の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者

### 3. 出願手続

#### (1) 出願期間

令和4年10月6日(木) ~ 10月14日(金) 17時(必着)

#### (2) 出願方法

ア 本学への出願方法はインターネット出願です。出願期間中にインターネット出願サイトより出願登録を行い、期間内に入学検定料の支払いと出願書類の発送(書留速達扱い)を行ってください。インターネット出願に関する詳細は、本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」内に掲載されている「インターネット出願利用ガイド」よりご確認ください。

イ 期間内必着のため、出願期間後に到着した出願書類は受理しません。郵便事情を十分考慮して発送してください。

### (3) 出願先（受付場所）

〒781-8515 高知市池2751番地1

高知県立大学 学生支援部入試課 （電話 088-847-8789）

### (4) 出願書類等

書 類	作 成 方 法
志 願 票	<ul style="list-style-type: none"><li>入学検定料払込手続完了後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷したものを提出してください。</li></ul>
卒業・修了 (見込) 証明書等	<ul style="list-style-type: none"><li>各自の出願資格にかかわる出身学校長が発行した卒業証明書又は卒業見込証明書を提出してください。</li><li>4年制大学に在学又は中途退学している者は、出身大学長が発行した在学（在籍）期間証明書（休学期間の有無が分かるもの）を提出してください。</li><li>専修学校の専門課程を修了した者及び修了見込みの者は、本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」より「大学編入学受験資格証明書」の様式をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷したものを使用してください。</li></ul> <p>(注) 証明書等が現姓と異なる場合は、戸籍抄本等、改姓したことを証明する書類を併せて提出してください。</p>
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"><li>各自の出願資格にかかわる出身学校長が作成し、厳封した成績証明書を提出してください。</li><li>4年制大学に在学している者は、履修証明書を含め62単位以上修得済み又は修得見込みを証明できるものを提出してください。</li></ul>
志望動機書	<ul style="list-style-type: none"><li>本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」より様式をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷したものに自書してください。</li></ul>
入学検定料	<ul style="list-style-type: none"><li>18,000円</li><li>納入方法については、「インターネット出願利用ガイド」をご確認ください。</li></ul>

### (5) 出願上の注意事項

ア 本学の昼間に履修する学生を対象とした文化学科〔言語文化系／地域文化創造系〕の3年次編入学選抜及び社会人選抜との併願はできません。また、文化学科〔文化総合系（夜間主コース）〕の社会人選抜（A日程）との併願もできません。

イ 記入にあたっては、黒のボールペン（消せるボールペンは使用しないこと。）を用いて、楷書で丁寧に記入してください。

誤って記入した場合は、その部分を二重線で消し訂正してください。

ウ 出願書類に不備がある場合は、出願を受け付けません。

エ 出願書類受理後には、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、入試課（Tel：088-847-8789）まで速やかに連絡してください。合格通知書、入学手続書類等はすべて出願時に登録された住所に送付します。

オ 出願受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。

カ 入学手続後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

#### (6) 受験票のダウンロード

受験票は、下記受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトからダウンロードし、カラー印刷のうえ、大切に保管してください。また、**試験当日は必ず持参してください**。ダウンロードした受験票には、2枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

受験票ダウンロード期間：令和4年10月19日（水）10時～11月18日（金）17時

### 4. 選抜方法

#### (1) 選抜方法

本学が実施する小論文、面接及び出願書類の内容を総合して判定します。

#### (2) 試験期日及び集合時刻

月 日	試験時間	試験科目等	集合時刻	集合場所
11月20日（日）	10:00～11:30	小論文	9:40	試験室
	13:00～18:00	面接	試験当日に指示します	

ア 試験当日は、本学永国寺キャンパス正面玄関に掲示する試験室等配置図を見て、その指示に従ってください。

イ 試験当日は、上記のとおり集合してください。試験開始、試験終了は、すべて指示又は合図によって行います。

※ 試験会場及び受験上の注意事項については、11ページ以降の共通事項をご確認ください。

### 5. 配点・採点評価基準・合否判定基準

#### (1) 配点

小論文	面接	合計
100	100	200

#### (2) 採点評価基準

試験科目等	採点評価基準
小論文	文化学科で学ぶ上で必要な読解力・論理的思考力・文章表現力、そして日本及び世界の文化についての知識と理解力を総合的に評価します。評価は複数の採点者で採点し、その平均点を得点とします。
面接	提出された志望動機書の内容、文化学科における勉学・研究への熱意・意欲、基礎的知識・論理的思考力・言語表現力等を含む文化学科で学ぶ上での適性などを総合的に評価します。複数の面接者の評価を点数化し、その平均点を得点とします。

#### (3) 合否判定基準

小論文・面接の合計点で合否を判定します。

### 6. 教育課程等

#### (1) 教育課程

文化学部文化学科〔文化総合系（夜間主コース）〕では、言語文化系（英語学領域・国際文化領域・日本語学領域・日本文学領域）及び地域文化創造系（地域文化領域・地域づくり領域・観光文化領域・観光まちづくり領域・現代法文化領域・生活法文化領域）の教育内容を総合的に学びます。

ただし、当コースは、教育職員免許状の取得を目指すものではありません。

## (2) 編入年次・修業年限

編入した学生は、原則として3年次編入とし、修業年限は2ヶ年とします。ただし、認定可能な既修得単位数によっては、修業年限が2ヶ年を超えることがあります。

## (3) 既修得単位の認定

大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等において修得した単位のうち、本学所定の授業科目に相当すると認められたものについては、本学で修得したものとして認定を行います。

ただし、既修得単位の認定は、最高62単位までとします。共通教養教育科目は最高25単位、専門教育科目は最高37単位まで、包括認定します。

## (4) 履修方法

既修得単位の認定後に、本学部の卒業認定に必要な単位を修得するよう個別の履修計画を作成し、学習を行います。

# 共 通 事 項

## 1. 受験及び修学上の配慮を必要とする場合の事前相談

障害を有する等、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ入試課（Tel：088-847-8789）に相談してください。

補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、必ず事前に相談してください。

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できない場合もありますので、なるべく早く相談してください。

この事前相談は、受験者に大きな負担となったり、他の受験者に比べて不利になったりしないよう配慮するために行うものであり、相談により受験者に不利益を与えるものではありません。

【相談の時期】令和4年10月4日（火）まで

## 2. 試験会場

高知県立大学 永国寺キャンパス

高知市永国寺町2番22号 （電話 088-821-7104）

（注）池キャンパスではありませんので注意してください。

- （1） 試験会場位置は、17ページの略図を参照してください。
- （2） 試験会場の下見は、令和4年11月18日（金）13時～17時に、試験会場正面玄関（風除室）に掲示してある配置図により、確認をしてください。ただし、建物内に入ることはできません。

## 3. 受験上の注意事項

### （1） 試験室への携行品

ア 筆記試験中は、受験票、鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）以外のものを机の上に置いてはいけません。

イ 試験中に使用できる時計は、計時機能のみのものに限り、計算や翻訳等の機能を備えた時計を試験室に持ち込むことはできません。また、試験時間中にアラームを使用してはいけません。

ウ 試験中は、携帯電話等の電源を切って、かばんに入れておいてください。

### （2） 受験票

ア 試験当日は、受験票を必ず持参してください。また、試験会場の建物に入るときは、受験票を提示できるように、あらかじめ準備してください。

イ 受験票を忘れた者は、試験前に各試験室の監督者又は入試スタッフに申し出てください。

ウ 休憩時間等で離席する場合は、受験票を必ず携行してください。

※ 受験票は、入学手続、成績開示請求の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。

### （3） 遅刻者等

ア 筆記試験開始後20分以上遅刻した者は、受験することができません。

イ 文化学科[言語文化系/地域文化創造系]は5ページ、文化学科[文化総合系(夜間主コース)]は9ページの「4.（2）試験期日及び集合時刻」に記載された面接開始時刻に遅刻した者は、受験することができません。

ウ 最初の試験を受験しなかった者は、残りの試験科目も受験することはできません。また、小論文及び面接のいずれか1つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。

#### (4) 試験室からの退室

筆記試験開始後は、試験室から退室できません。

#### (5) 不正行為

ア 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した高知県立大学のすべての試験の成績を無効とします。

(ア) 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入(受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど)をすること。

(イ) カンニング(試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。

(ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

(エ) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題を開いたり解答を始めること。

(オ) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット型端末、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。

(カ) 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

イ 上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記と同じです。

(ア) 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や机の上に置けないものをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

(イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

(ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。

(エ) 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

(オ) 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。

(カ) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

#### (6) その他

ア 本学では、受験のための宿泊斡旋は行っていません。

イ 駐車場はありません。公共交通機関等を利用してください。

ウ 試験当日の緊急連絡先は、以下のとおりです。

高知県立大学 永国寺キャンパス 電話 088-821-7104

## 4. 合格者発表

### (1) 発表日時

令和4年12月2日(金) 10時

### (2) 発表方法

ア 高知県立大学池キャンパス玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。

イ 高知県立大学ホームページ(<https://www.u-kochi.ac.jp/>)において、合格者の受験番号を掲載しますが、必ず本学所定の場所の掲示又は合格通知書で確認してください。

**【閲覧期間】令和4年12月2日(金) 10時過ぎ～12月14日(水) 17時**

(注) 永国寺キャンパスでは合格者の受験番号の掲示を行いませんので、注意してください。

可否について、電話やメール等による照会には一切応じません。

### (3) 追加合格

下記「5. 入学手続」の入学手続締切後に欠員が生じた場合には、その翌日以降に、追加合格者を決定することがあります。この場合は、決定後、追加合格者に直ちに合格通知書を郵送し、入学手続期日等を通知します。

## 5. 入学手続

### (1) 入学手続期間

令和4年12月5日（月）～12月14日（水）17時（**必着**）

### (2) 入学手続方法

ア 入学手続方法は、**郵送**とします。入学手続書類（下記「(4) 入学手続書類等（予定）」参照）を封筒に一括して入れ、**書留速達扱いで発送**してください。

なお、事情により直接持参を希望する場合は、事前に入試課（Tel：088-847-8789）まで連絡してください。

イ 期間内**必着**のため、入学手続期間後に到着した書類は**受理しません**。郵便事情を十分考慮して発送してください。

### (3) 入学手続先（受付場所）

〒781-8515 高知市池2751番地1

高知県立大学 学生支援部入試課（電話 088-847-8789）

### (4) 入学手続書類等（予定）

詳細は、合格者に別途お知らせします。

書 類	摘 要
誓 約 書	・ 本学所定の様式で、合格通知書送付時に同封します。
出身学校の卒業（修了）証明書	・ 出願時に提出している者は不要です。 ・ 令和5年3月31日までに卒業（修了）見込みの者は、卒業（修了）式後に提出してください。
出身学校の成績（履修）証明書	・ 出願時に提出している者は不要です。 ・ 令和5年3月31日までに卒業（修了、修得）見込みの者は、卒業（修了）式後又は修得後に提出してください。
保 証 書	・ 本学所定の様式で、合格通知書送付時に同封します。
住民票記載事項証明書	
学 生 証 暗証番号届	・ 本学所定の様式で、合格通知書送付時に同封します。 ・ 縦4cm×横3cmの写真を1枚貼付する必要があります。
入 学 料	<b>文化学科 [言語文化系／地域文化創造系]</b> ア 高知県内に住所を有する者（※） 141,000円 イ 上記以外の者 282,000円 <b>文化学科 [文化総合系（夜間主コース）]</b> ウ 高知県内に住所を有する者（※） 70,500円 エ 上記以外の者 141,000円 (※) 令和4年9月30日以前から引き続き高知県に、本人又はその配偶者、若しくは本人の一親等の親族が住所を有する者に限ります。

保 険 料	学生教育研究災害傷害保険保険料 学研災付帯賠償責任保険保険料 ※ 詳細は、下記「6. 納入金（1）」参照
-------	--

### （5）入学手続上の注意事項

ア 期間内必着のため、入学手続期間後に到着した手続書類は受理しません。郵便事情を十分考慮して発送してください。

イ 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

ウ 入学手続完了後は、提出書類は返還しません。また、いったん納入した入学金は返還しません。

※ 特別な事情により入学手続完了後に入学を辞退する者は、事前に入試課（Tel:088-847-8789）に連絡の上、入学辞退届を令和5年3月31日（金）17時までに入試課へ提出してください。（提出書類及び入学金は返還しません。）

なお、期日を過ぎて入学辞退届が提出されても、辞退者として取り扱わないので、注意してください。

## 6. 納入金（令和4年度実績）

納入金については、すべて令和4年度実績です。令和5年度納入金は、変更となる場合があります。

### （1）入学金及び保険料

入学手続の際に、下記の金額の入学金及び保険料を納入する必要があります。

区 分	学 科 等	入 学 料	保 険 料		計
			学生教育研究 災害傷害保険	学研災付帯 賠償責任保険	
高知県内に 住所を有する者	文化学科 【言語文化系/地域文化創造系】	141,000円	1,750円	680円	143,430円
	文化学科 【文化総合系(夜間主コース)】	70,500円	750円	680円	71,930円
上記以外の者	文化学科 【言語文化系/地域文化創造系】	282,000円	1,750円	680円	284,430円
	文化学科 【文化総合系(夜間主コース)】	141,000円	750円	680円	142,430円

### （2）授業料

文化学科【言語文化系/地域文化創造系】

年額535,800円（入学後、前期分を4月に、後期分を10月に各267,900円を分納。）

文化学科【文化総合系（夜間主コース）】

年額267,900円（入学後、前期分を4月に、後期分を10月に各133,950円を分納。）

上記の金額が改定されたときは、その額によります。なお、在学中に授業料改定が行われた場合は、在学生にも改定後の授業料が適用されます。

### （3）その他の納入金

3月31日までに納入するものは、下記のものです。

ア 後援会費	33,000円
イ しらさぎ会費（全学同窓会費）	15,000円
ウ 学生自治会費	10,800円



#### (4) その他

入学後、教科書代等の費用が別途必要となります。また、実習費等の必要経費を別途徴収することがあります。

### 7. 入学試験成績情報の提供

令和5年度3年次編入学選抜における個人成績を、次のとおり開示請求することができます。

開示内容	学力検査等の得点、総合得点、順位（合格者については順位の開示は行いません。）	
開示対象者	受験者全員（口頭による場合は、法定代理人を含む。）	
請求方法	文書による請求	口頭による請求
期間	令和4年10月6日(木)[出願開始日] ～12月14日(水)(消印有効) ※直接持参は、上記期間の平日9時～17時	令和4年12月2日(金)[合格者発表日] 10時～17時 令和4年12月5日(月) ～令和5年1月4日(水) ※受付時間は、上記期間の平日9時～17時 ※令和4年12月29日(木)～令和5年1月3日(火)の年末年始休業期間を除く。
方法	下記の書類を郵送又は直接持参により提出してください。出願書類と併せて提出することも可能です。 □入試情報提供申込書 本学の学部入試情報サイト「学生募集要項」よりダウンロードすること □「本学受験票のコピー」又は「受験者本人と確認できる身分証明書のコピー」 生徒証明書、運転免許証、パスポート等のコピーに本人が署名押印すること ※出願書類と併せて提出する場合は、不要。 □入試情報回答書送付用封筒 定形封筒長形3号(120mm×235mm)に404円分(定形封書25gまでの簡易書留)の切手を貼付すること 封筒の表面には、郵便番号、住所、氏名を明記し、「入試情報回答書在中」と朱書きすること	入試課窓口にて直接下記の書類を提示し、請求してください。 ・ <b>受験者本人による請求</b> □「本学受験票」又は「受験者本人と確認できる身分証明書」 ・ <b>法定代理人による請求</b> □本学受験票 □受験者との関係が明示された書類(戸籍抄本等) □法定代理人本人を確認できる書類(運転免許証、パスポート等)
回答期間	・合格者発表日以前に受付した場合 合格者発表日から15日以内 ・合格者発表日以後に受付した場合 受付日から15日以内	請求日当日
回答方法	郵送で通知します。	閲覧で開示します。

#### 請求先・閲覧による開示場所

〒781-8515 高知市池2751番地1

高知県立大学 学生支援部入試課 (電話 088-847-8789)

## 8. その他

### (1) 学生寮

詳細は、高知県立大学ホームページ (<https://www.u-kochi.ac.jp/>) で確認してください。

### (2) 個人情報の取扱い

この募集要項に基づき提出された出願書類から得られた個人情報は、「高知県個人情報保護条例」に規定する実施機関として、以下の目的に利用します。

ア 入学者選抜業務（出身高等学校等への合否結果通知並びに大学入試センター及び併願大学への合格者特定データの送信を含みます。）

イ 合格者については、合格通知業務、入学案内業務及び入学手続業務

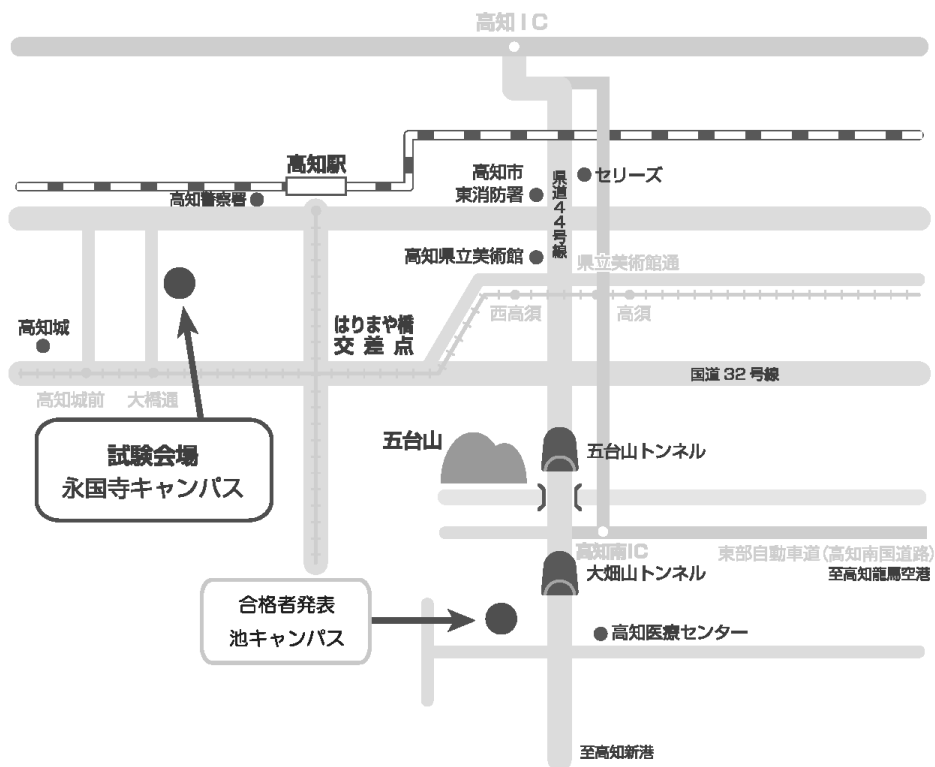
ウ 入学者については、学籍簿等の学業から進路に関する管理運営業務及び本学後援会・同窓会・学生自治会の業務

上記の目的のために、個人情報の一部を業務委託により受託者が取り扱う場合には、同条例第14条の規定に基づく必要な措置を義務付けます。

また、第三者には、同条例第10条ただし書きに規定する場合（本人の同意がある場合、法令等の規定に基づく場合、個人の生命等を保護するため緊急かつやむを得ない場合等）を除き提供しません。

なお、同条例第9条に定める利用の制限に関する例外規定に従って、上記の利用目的以外に、本学内において入試制度や大学の改革等のために利用することがあります。

## 9. 試験会場位置略図



### ～～アクセス方法～～

#### ■永国寺キャンパス

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

##### ・JR高知駅から

路面電車を利用する場合	約 20 分 (「大橋通」電停下車)
タクシーを利用する場合	約 5 分
徒歩の場合	約 20 分

路面電車を利用される方は、とさでん交通HP [<https://www.tosaden.co.jp/>] をご確認ください。

## 10. 必要書類一覧チェックリスト

郵送する前に、封筒内に以下の書類が入っていることを必ず確認してください。

### [言語文化系／地域文化創造系]

出願書類	確認
志願票	
卒業・修了（見込） 証明書等	
大学編入学受験資格証明書 （専門学校の特修課程を修了 した者及び修了見込みの者）	
成績証明書	
志望動機書	
TOEIC スコア等	

### [文化総合系（夜間主コース）]

出願書類	確認
志願票	
卒業・修了（見込） 証明書等	
大学編入学受験資格証明書 （専門学校の特修課程を修了 した者及び修了見込みの者）	
成績証明書	
志望動機書	

### 出願・受験・その他に関する問い合わせ先

〒781-8515 高知市池2751番地1  
高知県立大学 学生支援部 入試課  
電話 088-847-8789  
FAX 088-847-8605  
E-mail nyushi@cc.u-kochi.ac.jp  
URL <https://www.u-kochi.ac.jp/>

#### 受付時間

月～金曜日（祝日を除く） 9時～17時